

薬学部を取り巻く国の動きと 姫路獨協大学薬学部の現状

2021. 10. 22
姫路獨協大学在り方審議会

摂南大学薬学部
教授 河野武幸

注釈：文部科学省、厚生労働省データの赤矢印、緑の線と字は河野追記

本日の内容

薬学部を取り巻く国の動き

姫路獨協大学薬学部の現状（質保証の観点から）

現状を踏まえた意見

本題の前に

薬剤師の任務の確認

薬剤師法1条 薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生を掌ることことによつて、
公衆衛生の向上及び増進に寄与し、
もって国民の健康な生活を確保するものとする。

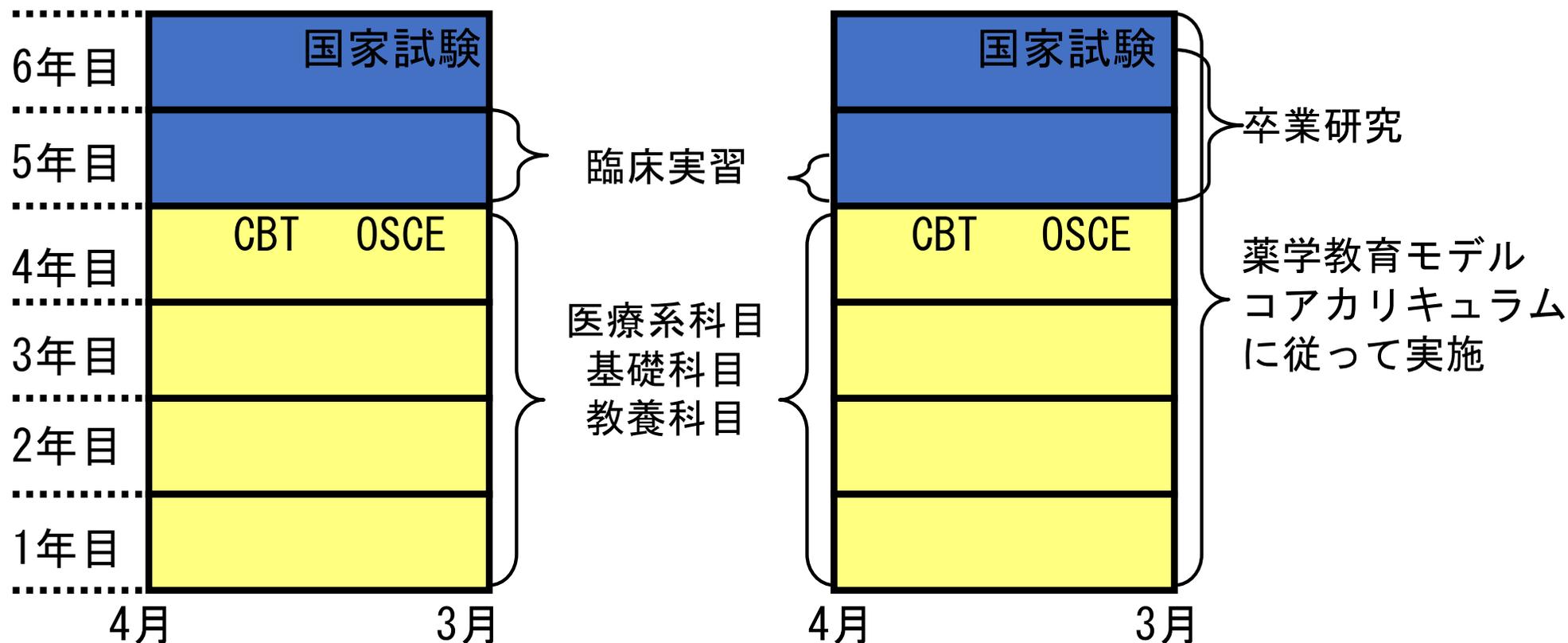
医師法1条 医師は、医療及び保健指導を掌ることによつて、
公衆衛生の向上及び増進に寄与し、
もって国民の健康な生活を確保するものとする。

保助看法5条 この法律において「看護師」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者若しくはじょく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者をいう。

6年制薬学教育（2006年度～）の概略

医学部

薬学部



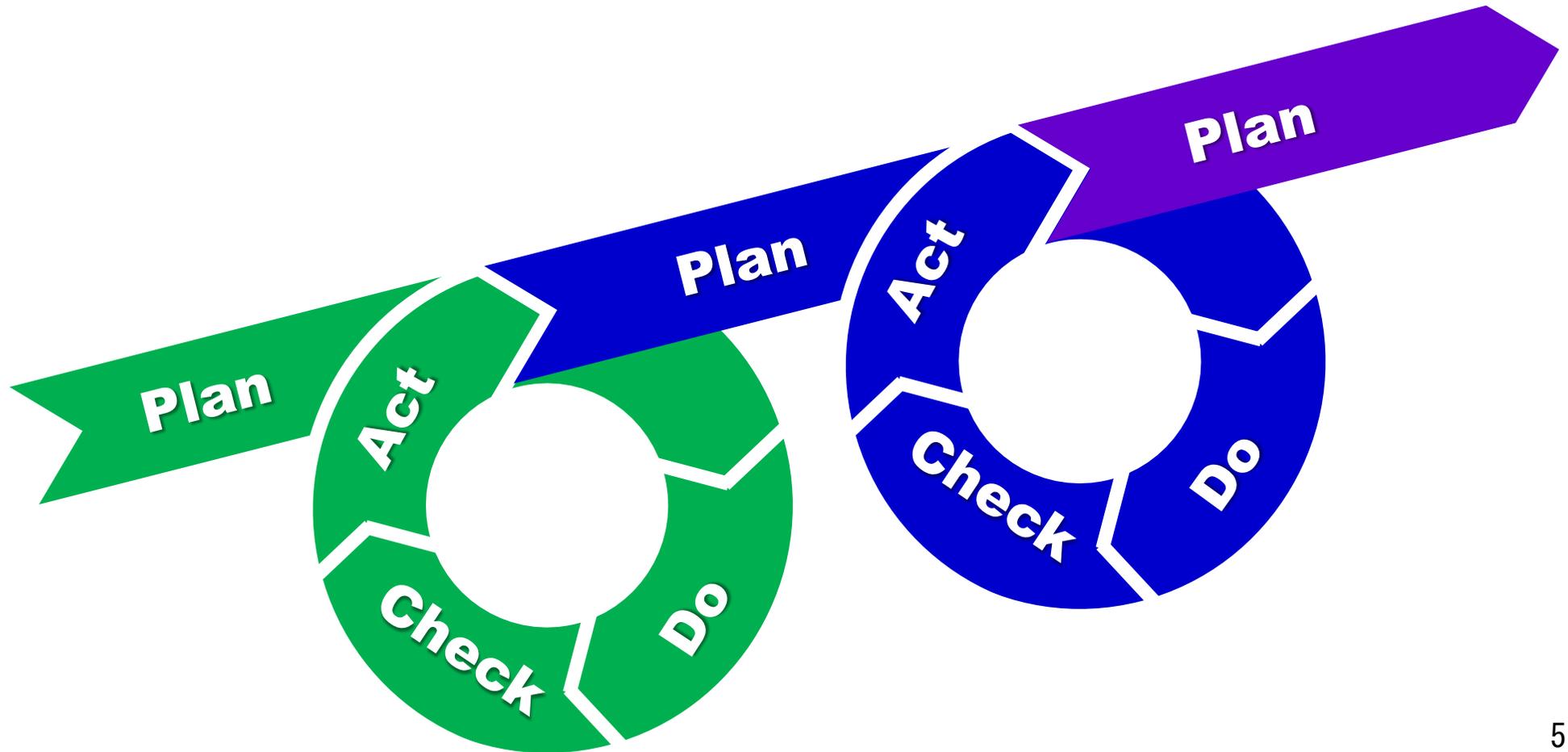
共用試験

CBT (Computer Based Test) : 主に知識に関する試験

OSCE (Objective Structured Clinical Examination, 客観的臨床能力試験)

: 技能, 態度に関する実地試験

薬学部を取り巻く国の動き



薬科大学（薬学部）学科別一覧（2020年度）

国立

No	大学名	6年制		4年制	
		学科名	定員	学科名	定員
1	北海道大学	薬学科	30	薬科学科	50
2	東北大学	薬学科	20	創薬科学科	60
3	千葉大学	薬学科	50	薬科学科	40
4	東京大学	薬学科	8	薬科学科	72
5	富山大学	薬学科	55	創薬科学科	50
6	金沢大学	薬学類	65	創薬科学類	18
7	京都大学	薬学科	15	薬科学科	65
8	大阪大学	薬学科	80		
9	岡山大学	薬学科	40	創薬科学科	40
10	広島大学	薬学科	38	薬科学科	22
11	徳島大学	薬学科	80	創製薬科学科	40
12	九州大学	臨床薬学科	30	創薬科学科	49
13	長崎大学	薬学科	40	薬科学科	40
14	熊本大学	薬学科	55	創薬・生命薬科学科	35
国立計 (14大学14学部)		14学科	536	13学科	603

公立

No	大学名	6年制		4年制	
		学科名	定員	学科名	定員
15	岐阜薬科大学	薬学科	120	—	—
16	静岡県立大学	薬学科	80	薬科学科	40
17	名古屋市立大学	薬学科	60	生命薬科学科	40
18	山口東京理科大学	薬学科	120	—	—
公立計 (4大学4学部)		4学科	380	2学科	80

私立

No	大学名	6年制		4年制	
		学科名	定員	学科名	定員
19	北海道医療大学	薬学科	160	—	—
20	北海道科学大学	薬学科	180	—	—
21	青森大学	薬学科	70	—	—
22	岩手医科大学	薬学科	120	—	—
23	東北医科薬科大学	薬学科	300	生命薬科学科	40
24	医療創生大学	薬学科	90	—	—
25	奥羽大学	薬学科	140	—	—
26	国際医療福祉大学 (福岡薬学部)	薬学科	180	—	—
		薬学科	120	—	—

私立

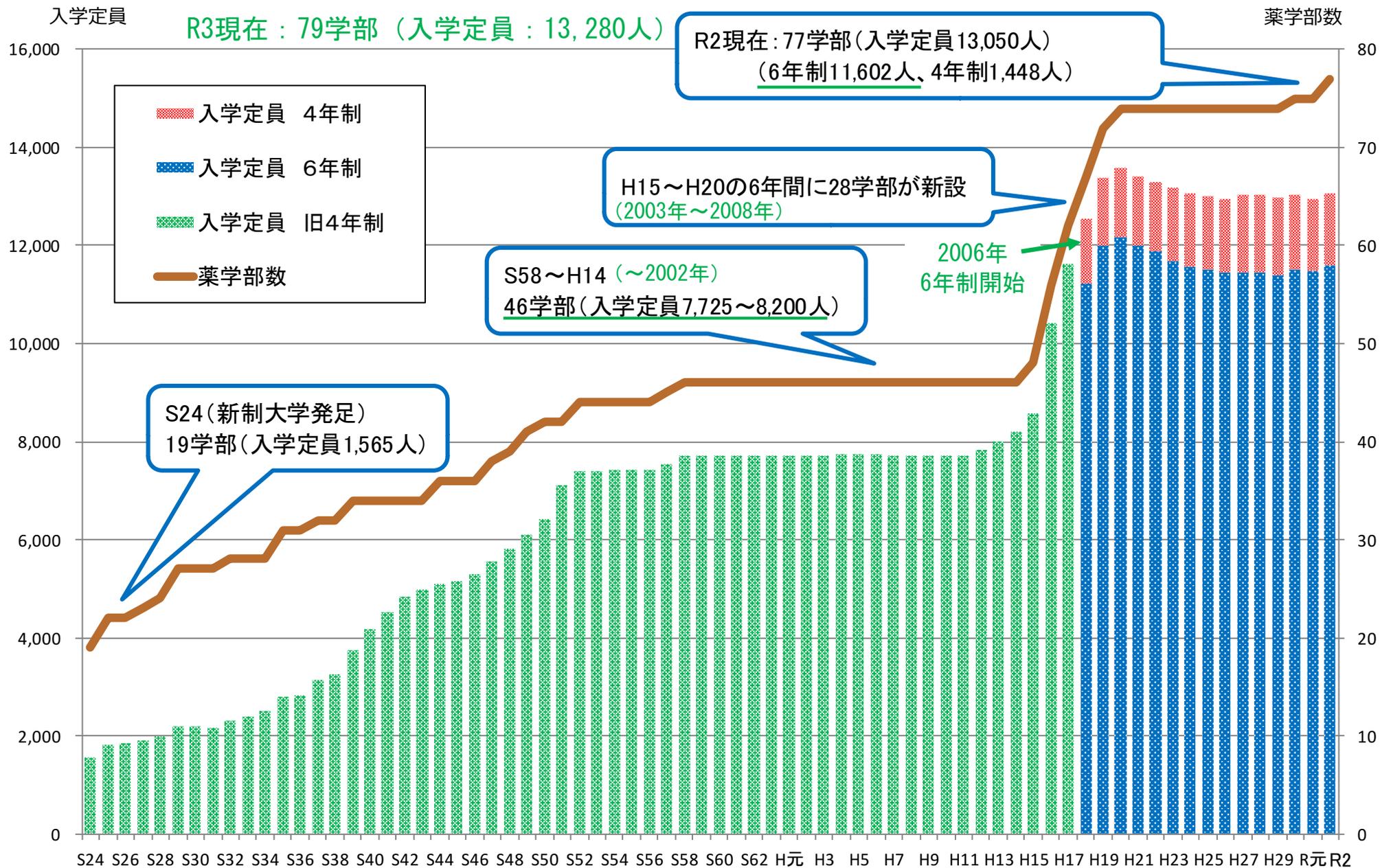
No	大学名	6年制		4年制	
		学科名	定員	学科名	定員
27	高崎健康福祉大学	薬学科	90	—	—
28	城西大学	薬学科	250	薬科学科	50
				医療栄養学科	100
29	日本薬科大学	薬学科	260	医療ビジネス薬科学科	90
30	城西国際大学	医療薬学科	130	—	—
31	千葉科学大学	薬学科	120	—	—
32	帝京平成大学	薬学科	240	—	—
33	東京理科大学	薬学科	100	生命創薬科学科	100
34	東邦大学	薬学科	220	—	—
35	日本大学	薬学科	244	—	—
36	北里大学	薬学科	260	生命創薬科学科	35
37	慶應義塾大学	薬学科	150	薬科学科	60
38	昭和大学	薬学科	200	—	—
39	昭和薬科大学	薬学科	240	—	—
40	東京薬科大学	医療薬学科	140	—	—
		医療薬物薬学科	140	—	—
		医療衛生薬学科	140	—	—
41	星薬科大学	薬学科	260	創薬科学科	20
42	武蔵野大学	薬学科	160	—	—
43	明治薬科大学	薬学科	300	生命創薬科学科	60
44	帝京大学	薬学科	320	—	—
45	横浜薬科大学	健康薬学科	60	薬科学科	30
		漢方薬学科	120	—	—
		臨床薬学科	160	—	—
46	岐阜医療科学大学	薬学科	100	—	—
47	新潟薬科大学	薬学科	180	—	—
48	北陸大学	薬学科	160	—	—
49	愛知学院大学	医療薬学科	145	—	—
50	金城学院大学	薬学科	150	—	—

私立

No	大学名	6年制		4年制	
		学科名	定員	学科名	定員
51	名城大学	薬学科	265	—	—
52	鈴鹿医療科学大学	薬学科	100	—	—
53	京都薬科大学	薬学科	360	—	—
54	同志社女子大学	医療薬学科	125	—	—
55	立命館大学	薬学科	100	創薬科学科	60
56	大阪大谷大学	薬学科	140	—	—
57	大阪薬科大学	薬学科	294	—	—
58	近畿大学	医療薬学科	150	創薬科学科	40
59	摂南大学	薬学科	220	—	—
60	神戸学院大学	薬学科	250	—	—
61	神戸薬科大学	薬学科	270	—	—
62	兵庫医療大学	医療薬学科	150	—	—
63	姫路獨協大学	医療薬学科	100	—	—
64	武庫川女子大学	薬学科	210	健康生命薬科学科	40
65	就実大学	薬学科	100	—	—
66	広島国際大学	薬学科	120	—	—
67	福山大学	薬学科	150	—	—
68	安田女子大学	薬学科	100	—	—
69	徳島文理大学(薬学部)	薬学科	150	—	—
	(香川薬学部)	薬学科	90	—	—
70	松山大学	医療薬学科	100	—	—
71	第一薬科大学	薬学科	113	—	—
		漢方薬学科	60	—	—
72	福岡大学	薬学科	230	—	—
73	長崎国際大学	薬学科	120	—	—
74	崇城大学	薬学科	120	—	—
75	九州保健福祉大学	薬学科	100	動物生命薬科学科	40
私立計 (57大学59学部)		64学科	10,686	14学科	765

国公私立合計 (75大学77学部)	82学科	11,602	29学科	1,448
----------------------	------	--------	------	-------

薬学部（学科）数及び入学定員の推移



6年制の入学定員・入学者数等②

- 2016年度～2020年度において、入学定員充足率が90%以下であったのが3回以上の大学

私立大学	入学定員	入学定員充足率（入学者数／入学定員）				
		2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
21 ■	70	68.6%	77.1%	43.3%	43.3%	50.0%
22 ■	120	35.0%	40.0%	53.3%	74.3%	81.3%
24 ■	90	54.4%	63.3%	93.3%	95.6%	87.8%
25 ■	140	57.1%	72.1%	80.7%	74.3%	48.6%
31 ■	130	58.5%	77.7%	91.5%	85.4%	106.2%
32 ■	120	49.2%	50.8%	63.3%	68.8%	68.8%
43 ■	160	86.9%	87.5%	89.4%	102.1%	97.9%
48 ■	180	60.0%	72.8%	67.2%	83.3%	87.8%
49 ■	160	67.5%	63.5%	50.9%	52.7%	32.7%
64 ■	100	34.0%	30.0%	47.0%	78.0%	76.0%
66 ■	100	83.0%	78.3%	52.5%	78.3%	90.0%
68	150	69.3%	72.0%	85.3%	94.0%	103.3%
69 ■	100	102.0%	70.0%	84.2%	74.2%	64.2%
70	150	47.3%	40.0%	41.1%	54.4%	55.0%
71 ■	90	51.1%	44.4%	41.1%	50.0%	63.3%
77 ■	100	66.0%	90.0%	65.7%	63.9%	95.6%

■ 新設（12校/16校）

* 水色セルは、入学定員充足率が90%以下の大学

（出典）文部科学省「入学試験・6年制学科生の修学状況」（平成28年度～令和2年度）

平成24年度 質の高い入学者の確保に向けてのフォローアップ状況（まとめ）①

↓
2012年：6年制完成直後

平成24年10月16日 薬学系人材養成の在り方に関する検討会
新制度の薬学部及び大学院における研究・教育等の状況に関するフォローアップワーキング・グループ

質の高い卒業生を輩出する要因の一つは、一定以上の学力を有する入学者の確保であると考え、質の高い入学者の確保に向け、薬科大学・薬学部に対して書面調査、ヒアリング調査等によりフォローアップを実施。

1. 書面調査

- 調査対象：①H20～23の入学定員充足率の平均が60%以下、
②H20～23の入学者選抜の競争倍率の平均が1.2倍以下、
③H22、23の5年次進級率、H22の実務実習修了率が60%以下の23学部に対して実施。
- 調査内容：各年次における進級判定の基準、入学者の質の確保の方策、入学前教育やリメディアル教育の実態、進級率が低い原因の分析や対応策、留年者・休学者・退学者への教育的配慮と指導、編入学の状況など。
- 対象校：**23大学**

23校中18校が新設（大学名は非公開）

2. ヒアリング調査

- 調査対象：上記23学部のうち、H23の卒業率が60%以下の9学部に対して実施。
- 調査内容：質の高い入学者の確保（追跡調査の実施）、優れた薬剤師を養成する体系的な薬学教育の実施（1科目当たりの学生数、進級判定の詳細、1教員当たりの学生数、成績不良者及び留年者に対する教育的配慮等）。
- 対象校：**9大学**

大学名は非公開

平成24年度 質の高い入学者の確保に向けてのフォローアップ状況（まとめ）②

3. 書面調査及びヒアリング調査を踏まえた所見

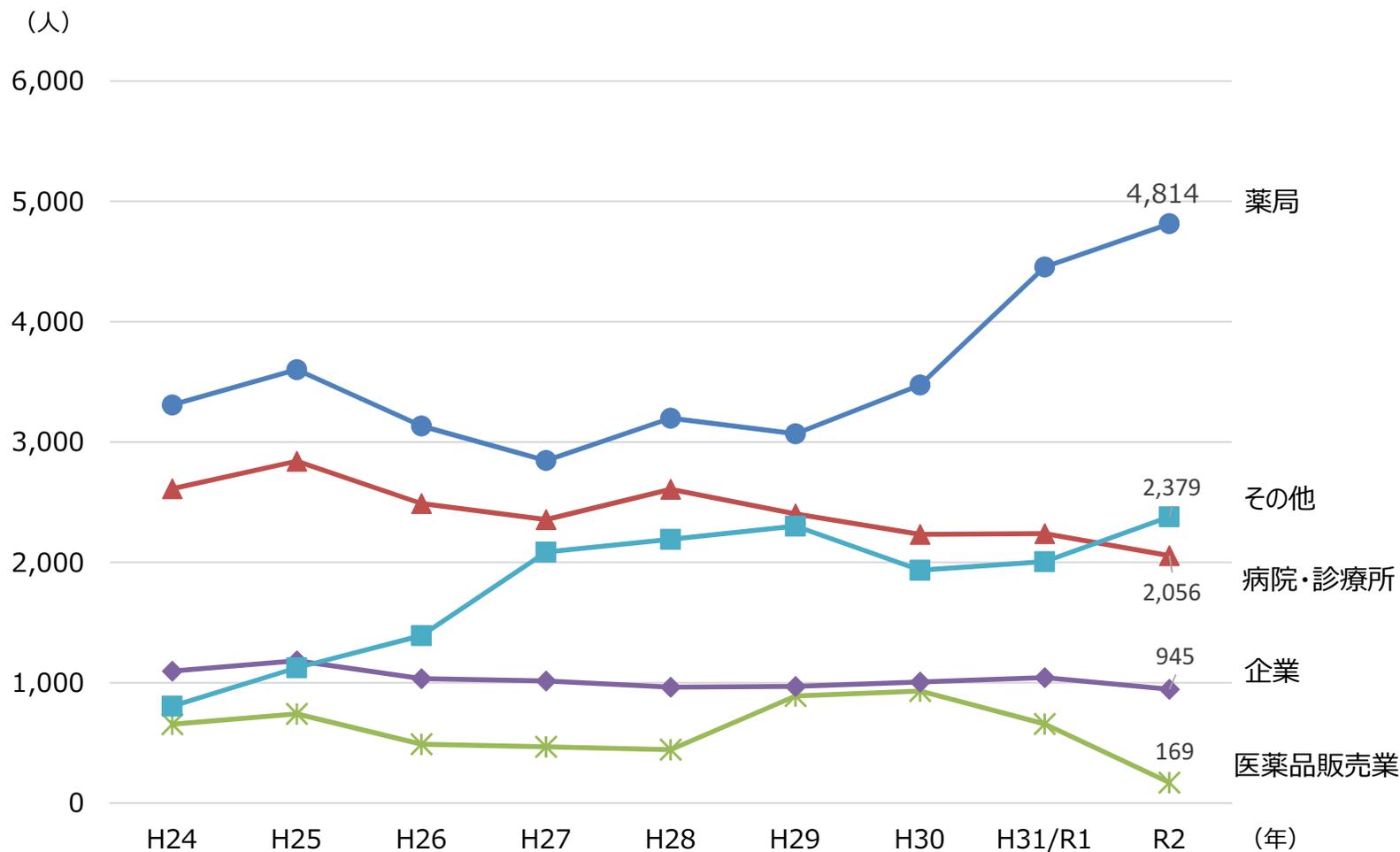
書面調査及びヒアリング調査を通じたフォローアップの結果、その対象大学だけでなく、多くの大学に共通する事項として、各大学が取り組むべき課題を提示。

- 留年者の多い大学においては、その要因は明らかに基礎学力不足であり、学年進行に応じた学力の向上が容易には期待できない状況。
- 基礎学力不足の学生は、国試対策対応だけでは、問題発見・解決能力を身につけた薬剤師として活躍することは難しく、優れた薬剤師の養成には十分とはいえない
- 実務実習前に身につけておくべき学力の不足は、入学時の学力だけではなく、薬学を学ぼうとするモチベーション、意欲、学修を継続できる能力なども要因。
- 入学を認めた全ての学生に対し教育し、一定の質を保証して社会に輩出するのが大学の務めであり、そのためにはどのような入学者選抜方法が適切であるか精査が必要。
- 学力向上のためには、能動的な自己学修習慣を身につけることが最も重要。
- 個々にきめ細かい指導体制を準備することが必要であり、指導体制を準備するため、質・量両面にわたる教員体制の大幅な是正が求められる。
- 共用試験や国試では測れない、倫理観、コミュニケーション能力、人間力、問題解決能力などの育成も重要であることを認識し、卒業研究やPBLなどの充実を図るべき。
- 各大学は、各年次の進級者数、入学者に対する標準修業年限内の卒業者や国家試験合格者の割合等の詳細をホームページ等で公表すべき。

後述

新設私立大学薬学部の 志願者が減少している理由の1つ

薬学教育 6 年制課程卒業生の就職状況（人数推移）



(出典) 一般社団法人 薬学教育協議会「就職動向調査」

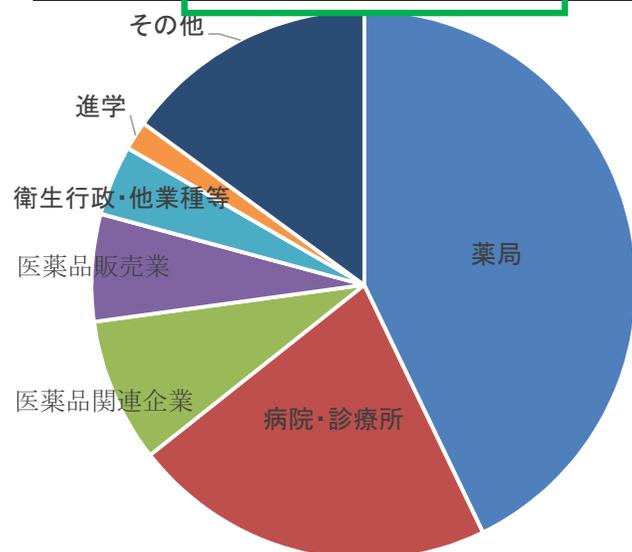
※ 毎年 3 月の卒業生の数を集計

※ 「その他」は、試験・研究機関、大学、行政、高校・中学の教職、研究生、その他の職業、進学、就職せず、未定 の合計

平成31年3月薬科大学6年制学科卒業生就職動向

区分	薬局	病院・診療所	医薬品関連企業	医薬品販売業	衛生行政・他業種等	進学	その他	計
国立	126 (26.1%)	145 (30.0%)	94 (19.5%)	35 (7.2%)	50 (10.4%)	19 (3.9%)	14 (2.9%)	483 (100%)
公立	61 (26.5%)	67 (29.1%)	58 (25.2%)	11 (4.8%)	22 (9.6%)	6 (2.6%)	5 (2.2%)	230 (100%)
私立	4,268 (44.1%)	2,028 (20.9%)	730 (7.5%)	610 (6.3%)	358 (3.7%)	152 (1.6%)	1,541 (15.9%)	9,687 (100%)
全体	4,455 (42.8%)	2,240 (21.5%)	882 (8.5%)	656 (6.3%)	430 (4.1%)	177 (1.7%)	1,560 (15.0%)	10,400 (100%)

単位：人



【細分類】

〔医薬品販売業〕ドラッグストア、卸売販売業等

〔医薬品関連企業〕開発・学術、医薬品情報担当、研究・試験・製造、その他

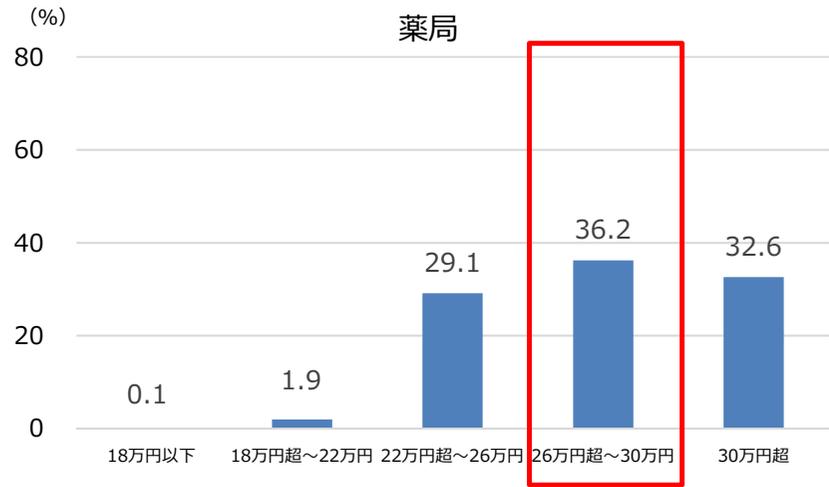
〔衛生行政・他業種等〕衛生行政、企業（開発・学術、営業等）、その他

〔その他〕研究生、就職せず、未定、その他

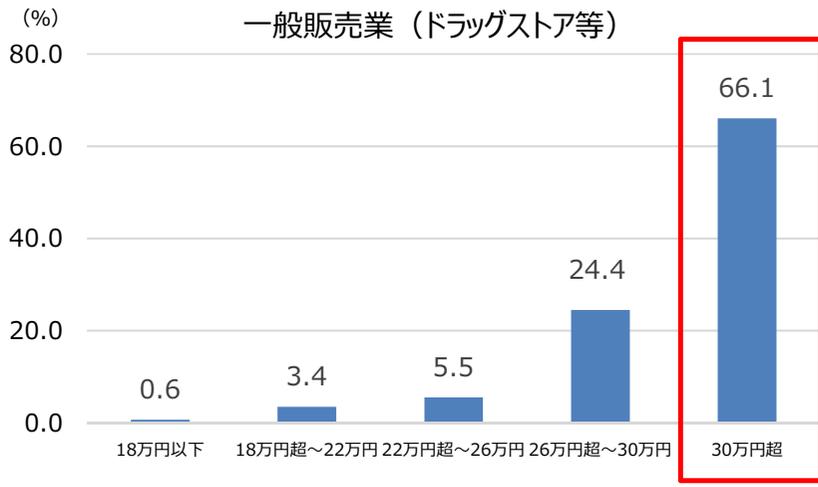
薬学教育協議会「薬系大学卒業生・大学院修了者の就職動向調査の集計報告」より

薬学教育6年制課程卒業生（平成31年3月）の就職先別初任給

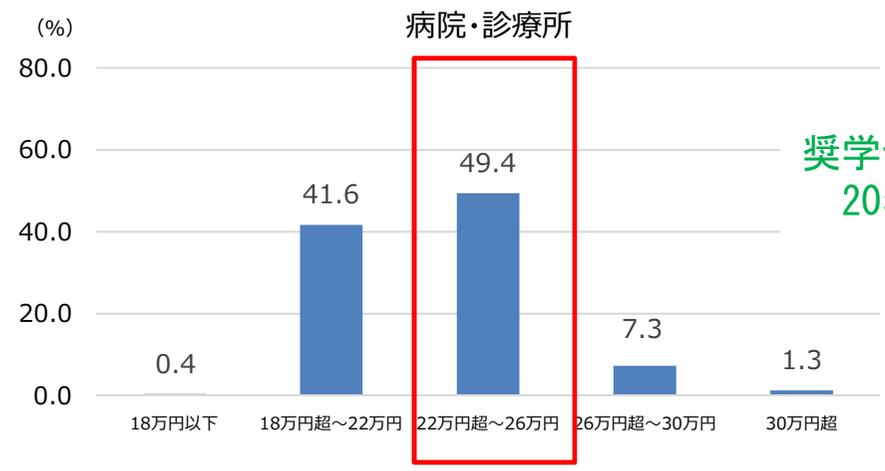
...一番割合の高い分類



※ 薬局に就職した4,455人のうち、3,599人の回答をまとめたもの



※ 医薬品販売業のうち、一般販売業（ドラッグストア等）に就職したのは617人であり、そのうち、495人の回答をまとめたもの



※ 病院・診療所に就職した2,240人のうち、1,520人の回答をまとめたもの

奨学金：1,008万円/6年間
20年返済で4.2万円/月返済

(出典) 一般社団法人 薬学教育協議会「就職動向調査」

(参考) 2020年度の入学定員・入学者数等 (6年制)

○ 2020年度の入学定員充足率が90%以下の大学は、私立大学の59学部中23学部であった(4割弱)。

国公立大学	入学定員	合格者数等				倍率・充足率		(参考) 過去の入学定員充足率			
		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率 (受験者数/合格者数)	入学定員充足率 (入学者数/入学定員)	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
1 北海道大学 ※1	80*	262	262	34	26	-	-	-	-	-	-
2 東北大学	80*	259	208	87	85	2.4	106.3%	108.8%	107.5%	110.0%	103.8%
3 千葉大学	90*	528	403	104	93	3.9	103.3%	100.0%	106.3%	107.5%	106.3%
4 東京大学 ※2 (理科Ⅱ類)	532*	1,982	1,858	556	550	3.3	103.4%	103.4%	102.8%	103.0%	102.4%
5 富山大学	55	393	299	62	55	4.8	100.0%	107.3%	109.1%	103.8%	103.8%
6 金沢大学	75*	207	189	85	83	2.2	110.7%	97.3%	106.7%	102.7%	100.0%
7 京都大学	80*	184	179	86	84	2.1	105.0%	107.5%	107.5%	107.5%	107.5%
8 大阪大学	80	279	265	80	80	3.3	100.0%	106.3%	100.0%	101.3%	107.5%
9 岡山大学	40	183	139	44	43	3.2	107.5%	102.5%	102.5%	101.3%	103.8%
10 広島大学	38	146	130	40	40	3.3	105.3%	107.9%	105.3%	101.7%	106.7%
11 徳島大学	40	245	220	43	40	5.1	100.0%	110.0%	112.5%	103.8%	116.3%
12 九州大学	30	137	109	32	31	3.4	103.3%	100.0%	103.3%	98.8%	101.3%
13 長崎大学	40	213	119	45	44	2.6	110.0%	100.0%	110.0%	102.5%	100.0%
14 熊本大学	55	264	249	58	57	4.3	103.6%	109.1%	100.0%	102.2%	102.2%
15 岐阜薬科大学	120	1,015	649	174	118	3.7	98.3%	110.0%	110.0%	108.3%	90.8%
16 静岡県立大学	80	524	332	113	81	2.9	101.3%	106.3%	122.5%	110.0%	102.5%
17 名古屋市立大学	60	788	444	87	61	5.1	101.7%	110.0%	101.7%	109.0%	115.0%
18 山口東京理科大学	120	1,143	665	205	121	3.2	100.8%	120.8%	99.2%		

* 6年制・4年制一括募集の定員

※1 平成23年度から北海道大学は総合入試を導入しており、合格者数等欄は学部別入試分(6年制・4年制一括で募集数24人)に対するものであるほか、倍率・充足率は算出しません。

※2 入学定員欄には理科Ⅱ類の募集数を記載している。薬学部入学定員は80。

(出典) 文部科学省「入学試験・6年制学科生の修学状況」(平成28年度～令和2年度)

6年制の入学定員・入学者数等①

●新設大学・学部の入学定員・入学者数等（2018年以降の新設大学・学部）

新設大学	設置主体	設置年	都道府県に設置が初めて	入学定員	2021年度		2020年度		2019年度		2018年度	
					入学者数	充足率	入学者数	充足率	入学者数	充足率	入学者数	充足率
山口東京理科大学 (山口県)	公立	2018年	○	120	120	100.0%	121	100.8%	145	120.8%	119	99.2%
大学名は非公開	私立	2020年		120	123	102.5%	131	109.2%				
	私立	2020年		100	78	78.0%	79	79.0%				
和歌山県立医大 (和歌山県)	公立	2021年	○	100	100	100.0%						
大学名は非公開	私立	2021年		130	34	26.2%						

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会開催要綱

令和 2 年 7 月 1 0 日
医薬・生活衛生局総務課

1. 目的

今後、少子高齢化が進行し、人口減少地域が増大することが予測される中で、人口構造の変化や地域の実情に応じた医薬品提供体制を確保することが求められる。また、薬剤師に関しては、薬学教育 6 年制課程が平成 18 年に開始されて以降、地域包括ケアシステムの一員としての薬剤師の対応、医療機関におけるチーム医療の進展、「患者のための薬局ビジョン」におけるかかりつけ薬剤師・薬局の推進、令和元年 12 月に公布された改正薬機法など、薬剤師に求められる役割が変化している。このような状況から、今後の薬剤師の養成や資質向上等に関する課題について検討する。

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会 とりまとめ（提言概要）

令和3年6月30日公表

薬剤師の養成等

- 養成（入学定員、薬剤師確保）
 - 将来的に薬剤師が過剰になると予想される状況下では、入学定員数の抑制も含め教育の質の向上に資する、適正な定員規模のあり方や仕組みなどを早急に検討し、対応策を実行すべき。
 - 併せて、薬剤師の確保を含め、偏在を解消するための方策を検討することが重要であり、地域の実情に応じた効果的な取組を検討すべき。
 - 今後も薬剤師の業務実態の把握、継続的な需給推計を行い、地域偏在等の課題への対応も含めた検討に活用すべき。
- 薬学教育（カリキュラム、教員、卒業までの対応）
 - 薬学教育モデル・コアカリキュラムの見直しを検討する際には、本とりまとめの今後の薬剤師が目指す姿を踏まえたカリキュラムとすべき。
 - カリキュラムは、臨床に関する内容、在宅医療への対応のための介護分野の内容、OTCの対応や健康サポート機能への取組により地域住民の健康増進を進めるための内容、感染症や治療薬・ワクチンに係る内容、コミュニケーション能力に係る内容についても、さらに充実すべき。
 - 研究能力を持つ薬剤師の育成も重要であり、国家試験対策中心の学習に偏重することなく、6年間を通じた研究のカリキュラムを維持すべき。
 - カリキュラムを踏まえた教育に対応できる教員の養成と質の向上が重要である。最新の臨床現場の理解と研究能力を有することが必要である。
 - 修学状況（進級率、標準修業年限内での国家試験合格率など）等の課題を有する大学が存在する状況を改善するため、これらの情報の適切な公表、薬学教育評価機構による第三者評価結果の効果的な活用、評価結果のわかりやすい公表等を行うべき。
- 国家試験
 - 定期的に合格基準・出題基準の見直し要否の検討を医道審議会で行うべき。
 - 国家試験の基礎科目は薬学共用試験のCBT（知識を問う問題）の充実により軽減し、臨床に関する問題を中心とすることを検討すべき。

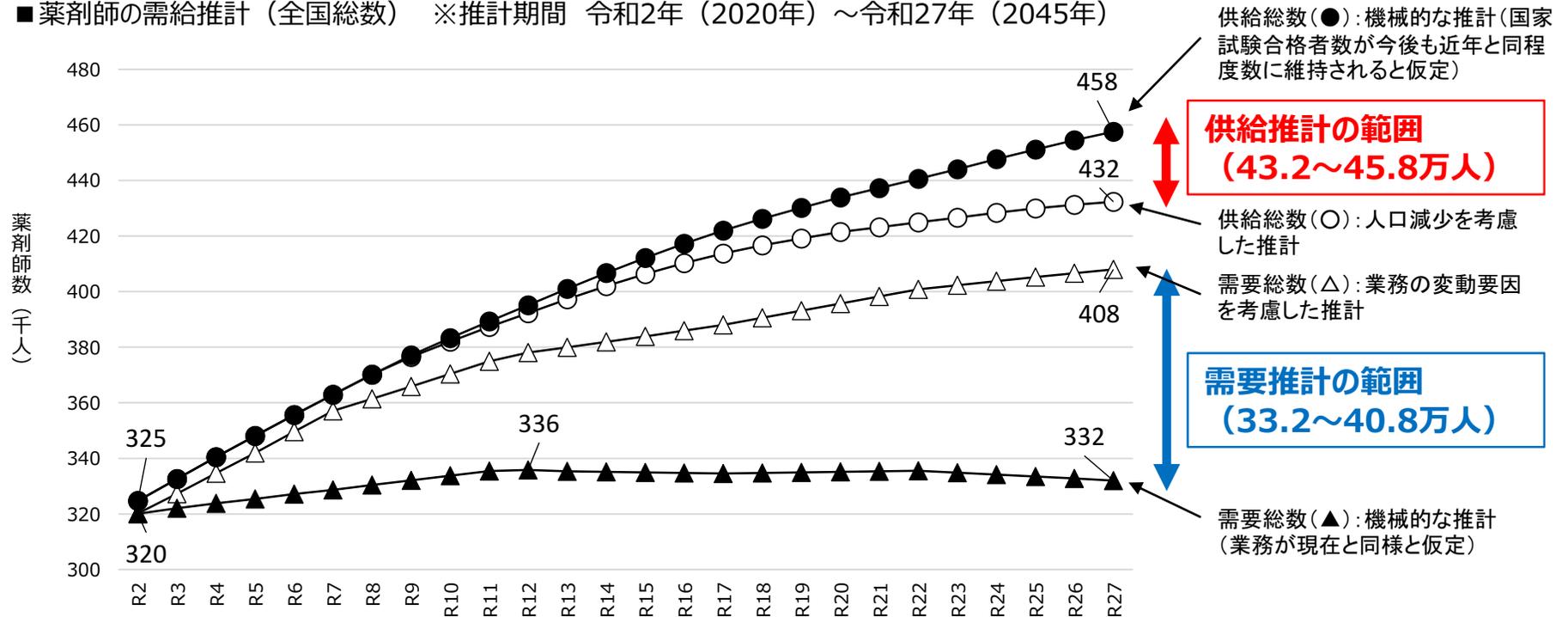
薬剤師の業務・資質向上

- 薬局及び医療機関の薬剤師の業務（調剤業務、ICT対応）
 - 対人業務の充実と対物業務の効率化のためには、薬剤師しかできない業務に取り組むべきであり、それ以外の業務は機器の導入や薬剤師以外の者による対応等を更に進めるため、医療安全の確保を前提に見直しを検討することが必要である。（本検討会で引き続き検討）
 - 電子処方箋や電子版お薬手帳等のICT化による情報共有、薬局・医療機関等の間での連携方策に取り組むべき。
- 薬剤師の資質向上（卒後研修、生涯研修・専門性）
 - 臨床実践能力の担保のためには、薬学教育での実習・学習に加えて、免許取得直後の臨床での研修が重要であり、卒前（実務実習）・卒後で一貫した検討が必要である。研修制度の実現に向けて、卒前の実務実習との関係性を含め、研修プログラムや実施体制等について検討すべき。
 - 生涯研修として薬剤師認定制度認証機構（CPC）の認証を受けた研修機関が実施する研修を活用すべき。
 - 学会等で行われている薬剤師の専門性の認定に関しては、第三者による確認など、認定の質の確保について検討が望まれる。

(参考) 薬剤師の需給推計

- 薬剤師の総数としては、概ね今後10年間は、需要と供給は同程度で推移するが、将来的には、需要が業務充実により増加すると仮定したとしても、供給が需要を上回り、薬剤師が過剰になる。薬剤師業務の充実と資質向上に向けた取組が行われない場合は需要が減少し、供給との差が一層広がることになると考えられる。
- 本需給推計は、変動要因の推移をもとに仮定条件をおいて推計したものであり、現時点では地域偏在等により、特に病院を中心として薬剤師が充足しておらず、不足感が生じている。
- 今後も継続的に需給推計を行い、地域偏在等への課題への対応も含めた検討に活用すべき。

■ 薬剤師の需給推計（全国総数） ※推計期間 令和2年（2020年）～令和27年（2045年）



<供給推計>

- ・ 機械的な推計(●)：現在の薬剤師数の将来推計、及び今後新たに薬剤師となる人数の推計(国家試験合格者数が今後も近年と同程度数に維持されると仮定)をもとに供給総数を推定(推定年における年齢別死亡率も考慮)
- ・ 人口減少を考慮した推計(○)：今後の大学進学予定者数の減少予測を踏まえ、国家試験合格者が同程度の割合で減少すると仮定して供給総数を推計

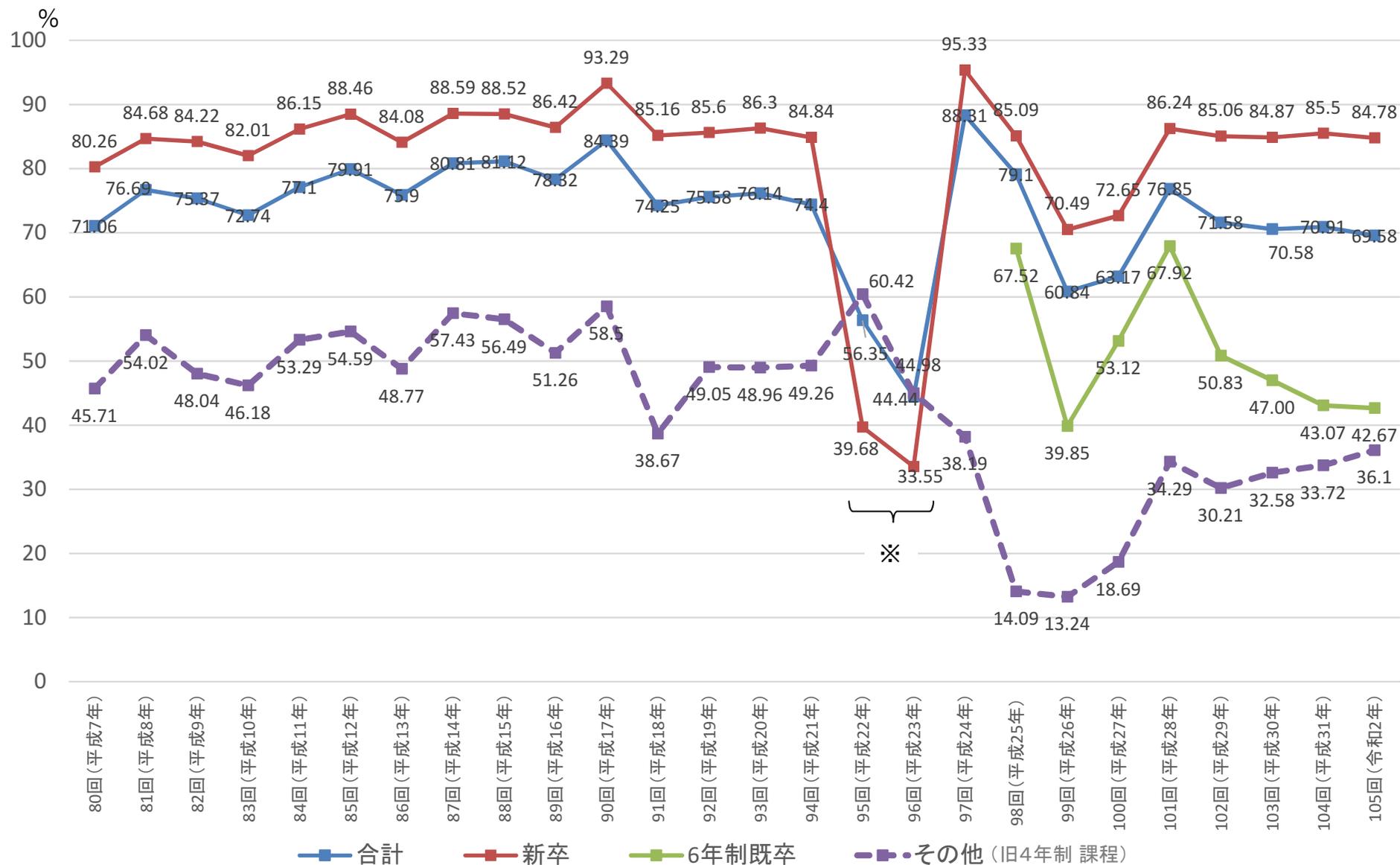
<需要推計>

- ・ 機械的な推計(▲)：薬局業務(処方箋あたりの業務量)、医療機関業務(病床/外来患者の院内処方あたり業務量)及びその他の施設に従事する薬剤師の業務が、現在と同程度で推移する前提で推計
- ・ 変動要因を考慮した推計(△)：薬局業務と医療機関業務が充実すると仮定した場合の推計

姫路獨協大学の現状 (質保証の観点から)

薬剤師国家試験
薬学教育第三者評価

薬剤師国家試験合格率の推移



※ 95・96回は4年制から6年制への移行期

第106回国家試験の新卒出願者の状況【割合】

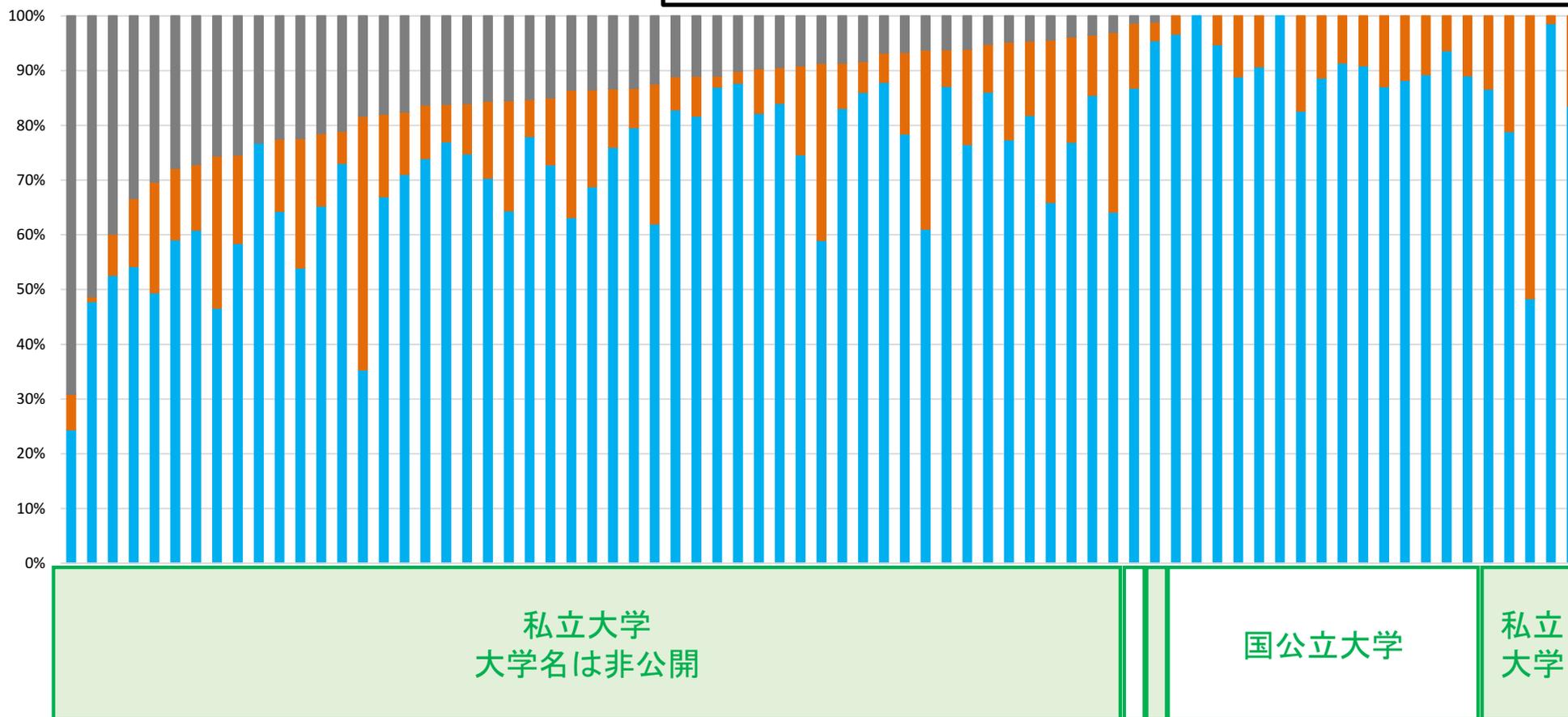
○ 出願者のうち未受験者の割合は約1割。未受験者のほとんどは私立大学であり、大学によって差がある。

国家試験出願→留年・卒業延期→国家試験未受験

未受験者の割合の高い順

【新卒】

出願者 9,983人
 受験者 8,711人(87.3%) (未受験者1,272人(12.7%))
 合格者 7,452人(74.6%) (不合格者1,259人(12.6%))



■合格者 ■不合格者 ■未受験者

※第106回薬剤師国家試験 大学別合格者数

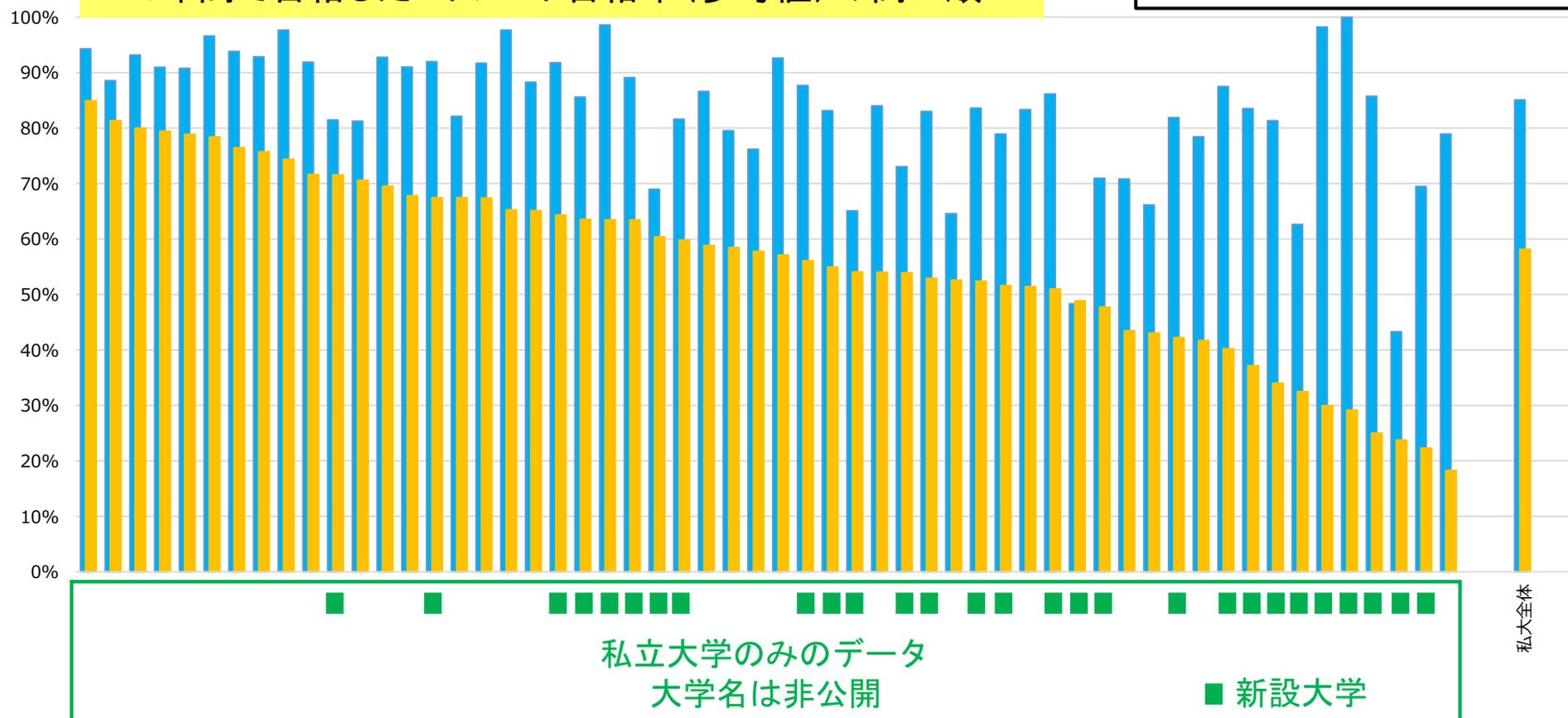
(参考) 私立大学の合格率 (第106回国家試験)

- 私立大学の新卒の合格率は85.1%であるが、新卒のうち6年間で卒業・合格した2015年度入学者で見ると、2015年度の入学者全体に占める割合は58.2%と推計。
- 入学から6年間で国家試験に合格できる者の割合は、大学によって差がある。

- (■) 2021年3月に卒業した新卒の合格率(合格率の高い順)
- (■) 2015年度入学者のうち、6年間(2021年3月)で卒業・合格した学生の割合(参考値)

<私立大学全体の合格率>
 ● 新卒 85.1%
 ● 2015年度入学者 58.2%

6年間で合格したストレート合格率(参考値)の高い順



※2015年度入学者数は文部科学省の公表資料、国家試験合格者の入学年度は国家試験の出願書類に記載されたものを用いて厚生労働省において割合を試算した参考値。(2015年度入学者数が不明の大学は、2015年度の定員数を用いた)

薬学教育評価（第三者評価）

2013年度～2019年度（7年間）で第1サイクルを実施

74大学（学部）がすべて受審、不適合はなし

68大学（学部）が適合

6大学（内、4大学が新設）が評価継続

姫路獨協大学（2016年度に受審）：評価継続 → 3年間で改善

改善項目：25（平均：14.4項目）

助言項目：34（平均：18.9項目）

再評価（2020年度に受審）：適合 → 次回評価は2023年度自己評価

改善項目：7

助言項目：13

再評価結果

改 善

- ・ シラバス記載の開講年次とカリキュラムマップに一部齟齬がある
- ・ 問題解決能力の醸成にかかる総合的な目標達成度の指標の設定と評価の実施
- ・ シラバスへの学習方略の記載
- ・ 「出席」を成績評価の基準とし、総合点に占める割合が高い科目の改善
- ・ 教育研究活動全般を見直すまでには至っておらず、再評価書面にも間違いが散見される。

助 言

- ・ ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの整合性のさらなる充実
- ・ 十分な卒業研究期間の確保
- ・ 問題解決型学習のさらなる充実
- ・ 標準修業年限内（6年間）の卒業についてのさらなる努力
- ・ 総合的な学習成果の測定
- ・ 教員数のさらなる増加
- ・ 実務家教員が研鑽できる制度の構築
- ・ 若手教員（講師、助教）の授業負担の改善
- ・ 学部専任事務職員の配置
- ・ 教育プログラム全体の定期的な自己点検・評価

姫路獨協大学薬学部の現状（まとめ）

ブランド校を除く大部分の新設の私立薬学部が抱えている問題

志願者が少ない。

入学後に学力を伸ばせる学生が少ない（標準修業年限内の国家試験合格率から）。

国の動向についての情報を収集できる教員が少ない？

教育プログラム評価に対応できる理論を理解している教員が少ない？

例：3つの方針、総合的な学習到達度評価等

上位校を除く私立薬学部が抱えている問題

授業料の問題（国公立の場合、大都市でなくとも優秀な学生が集まっている）。

教員を公募しても採用に値する応募者が殆どいない。

姫路獨協大学の問題

入学者を確保するため、学力試験を課さない推薦系の入学者を増やした結果、志望意欲と難易度が下がり、さらに志願者が減った（2021年度の入学生：26人）。

現状を踏まえた意見

全国の薬剤師総数に基づき薬剤師の養成数を考えるとともに、薬剤師の従事先には業態の偏在や地域偏在があり、偏在を解消するための薬剤師確保の取組が必要である。特に病院薬剤師の確保は喫緊の課題である。

大学は、大学が設置されている自治体及び周辺の自治体等における薬剤師養成・確保についても、自治体とも連携のうえ取り組んでいく必要がある。

厚生労働省「薬剤師の養成及び資質向上に関する検討会」資料より

兵庫県西部に薬学部は必要？

地域の病院薬剤師は不足していると考えられるので、
優秀な薬剤師の養成が必要。

公立化する場合の 課題

公立化により基礎学力と学ぶ意欲を具備した学生を集める
志願者数予測の参考データ

私立大学薬学部3年次生の出身県別在籍数

2016年～2020年度の5年間の平均

年度	出身県	
	兵庫県	和歌山県
2016	567(27)	90(20)
2017	529(30)	74(18)
2018	484(40)	90(11)
2019	513(31)	88(12)
2020	483(26)	72(10)

() : 近畿圏外への進学者(内数)

私立大学薬学部4年次生の在籍者数 (兵庫県西部出身の2019年～2021年の4年次学生数の平均)

<p>但馬 豊岡、養父、朝来</p> <p>5.0</p>	<p>丹波 丹波、丹波篠山</p> <p>5.0</p>	
<p>西播磨 相生、赤穂 穴栗、たつの</p> <p>20.3</p>	<p>中播磨 姫路、神河</p> <p>54.0</p>	<p>北播磨 小野、河西 西脇、三木</p> <p>13.7</p>
		<p>東播磨 明石、加古川 高砂、播磨町</p> <p>75.0</p>
<p>淡路 淡路、洲本</p> <p>8.7</p>		

地区の病院に実習をエントリーした学生数
 ÷ 地区出身の学生数
 京都大学、大阪大学、近畿以外の大学に
 進学した学生は含まれない。

地域合計：182人/1年（内、45人が姫路獨協大学の学生）

参考）和歌山県：54人/1年

薬剤師の地域偏在への対応

- 就職先の需給調査が必要（兵庫県病院薬剤師会に依頼）
- 入学試験に県内枠（播磨、但馬、淡路、丹波？）を設けることを考慮する。

例：和歌山県立医科大学薬学部：
15名の県内枠（学校推薦型入試）

求める教員像

国の動向についての情報を収集できる教員が少ない？

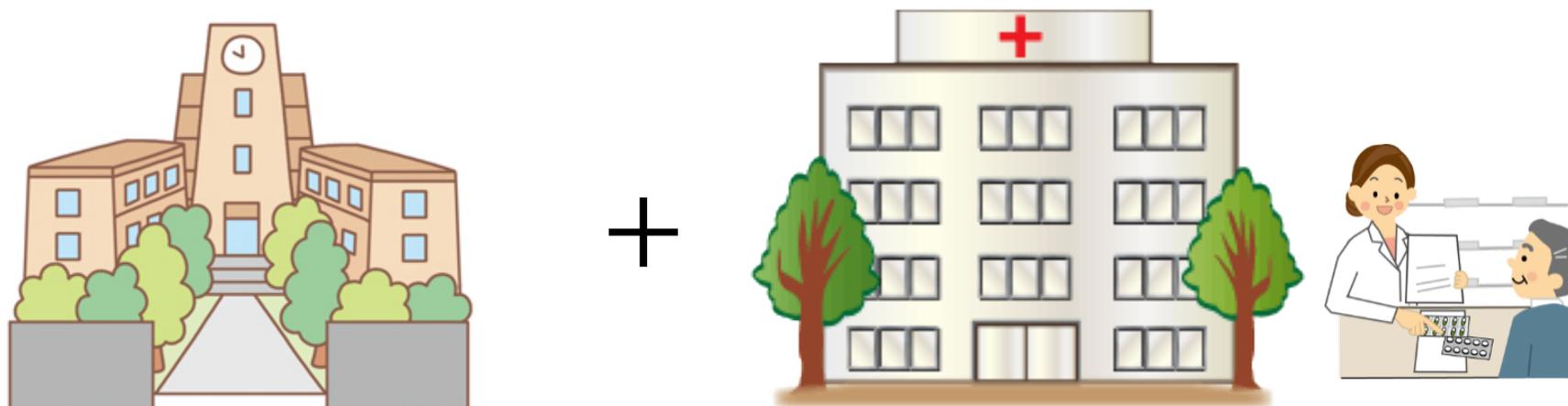
教育プログラムの評価に対応できる理論を理解している教員が少ない？

例：3つの方針、総合的な学習到達度評価

公立化後の教員像

- ・ 国の動向についての情報を収集できるコア教員が必要。
- ・ 教育プログラム評価を熟知しているコア教員が必要。
- ・ 地域の指導的立場にある薬剤部長・教授が実務家教員として必要。
- ・ **誰もが認める経験豊富なコア教員を求める。**
例：和歌山県立医大薬学部の場合、コア教員4名
- ・ コア教員が公立化後に採用した若手教員をコア教員に育てる。

- 協力病院の確保が必須
附属病院を持たない薬学部の例：
協力病院内にサテライトキャンパス（ラボ）を整備



習得実践

薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂(2024年度入学生から)

年度	薬学	(参考) 医学・歯学
2019年度 (令和元年度)	調査研究委託(1年目) ※委託先:日本私立薬科大学協会	
2020年度 (令和2年度)	調査研究委託(2年目) ※委託先:日本私立薬科大学協会	調査研究委託(1年目)
2021年度 (令和3年度)	調査研究委託(3年目) ※委託先:日本私立薬科大学協会 コアカリ改訂検討開始	調査研究委託(2年目) コアカリ改訂検討開始
2022年度 (令和4年度)	コアカリ改訂完了	調査研究委託(3年目) コアカリ改訂完了
2023年度 (令和5年度)	(準備期間)	(準備期間)
2024年度 (令和6年度)	学生受け入れ	学生受け入れ

薬学・医学・歯学は同時改訂

ご清聴有り難うございました。